

Step 1 ここが大切 | 基本のことは

● 国の政治は「三権分立」 地方自治を担う首長と議会
 政治とは大まかに言えば、国やそれぞれの地域を治め、国民・住民にとって望ましい社会にしていくことです。日本では「国の政治」と「地域の政治（地方自治）」がそれぞれ、日本国憲法（50条）や法律などにに基づき、主役、である国民・住民の意見を生かして進められます。国の働きには、「立法」「行政」「司法」の三つがあります。日本では、これらを国会、内閣、裁判所という別々の機関が担当し（47条）、チェックし合う仕組みです。これを「三権分立」といいます。国会議員は国民の選挙で選ばれ、全国民の代表として法律づくりなどを担います。国の政治の代表的なテーマは、国民全体に関係する外交、防衛などです。これに対し、地域の政治は住民の暮らしに密着した警察や消防、福祉、教育といった仕事を中心です。地方自治体（地方公共団体）の首長（都道府県知事や市区町村長）、議会の議員がどちらも住民の選挙で選ばれ、住民代表として働きます（47条）。

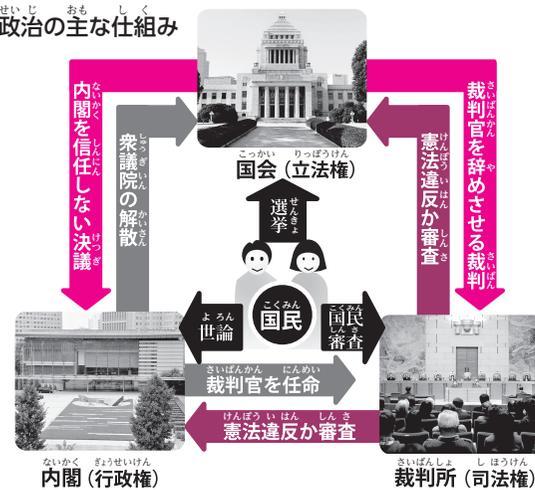
● 増える国・自治体の借金 将来世代の負担に
 国民・住民や企業が納める税金は、国や地方自治体の仕事に使われます。ところが税金だけでは足りないため、国は借金（国債の発行）を重ねてきました。背景の一つは、お年寄りを支える年金・介護などに必要なお金が膨らんでいることです。地域の政治でも、地方都市を中心にお金のやりくりで困っている自治体が目立ちます。国と自治体の借金合計額は増え続け、大きな問題になっています。将来の世代にツケを回しているためです。

Newsなできごと ■ 消費税の税率「10%」に
 買い物にかかる消費税の税率は2019年10月、8%から10%に引き上げられます。主に国の税金収入を増やして、借金を減らすためです。ただし所得の低い人に配慮して、暮らしに欠かせない食料品や飲み物の一部などは税率8%に据え置かれる見込みです。

Step 2 わかるかな? | 確認テスト

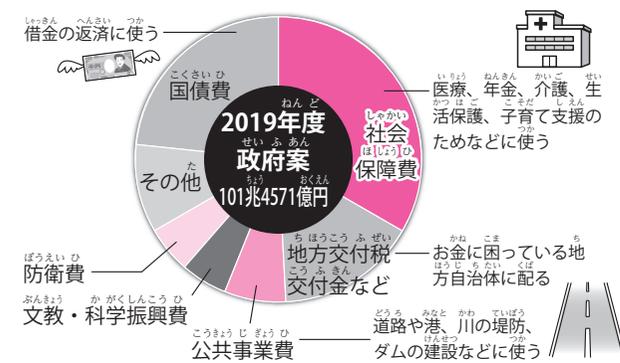
- ★ 日本では、「立法」「行政」「司法」という国の働きを、国会、内閣、裁判所という別々の機関が担い、互いにチェックし合う仕組みを取っています。これを(1) といいます。
- ★ 地域の政治は、地方(2) が住民の意見を基に進めます。知事・市区町村長といった(3) と、議会の(4) が共に住民代表として働きます。
- ★ 国や地方(2) の仕事に必要なお金は、国民・住民や企業が納める(5) でまかなうのが本来のあり方です。しかしそれだけでは足りず、(6) が膨らんできました。

◆ 国の政治の主な仕組み



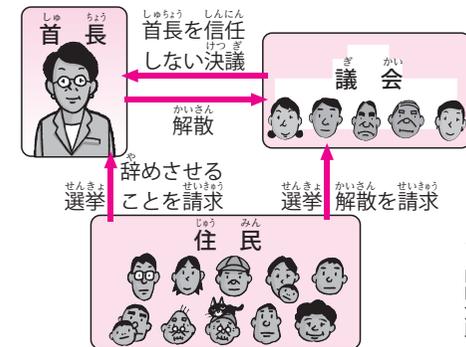
- ◎ 国会……法律(国のルール)を作る「国の唯一の立法機関」。内閣の案を審議して、予算(お金のやりくりの計画)も決める。
- ◎ 内閣……国会が決めた法律や予算に基づき、国の行政を取り仕切る。内閣のトップが内閣総理大臣(首相)。
- ◎ 裁判所……憲法や法律に基づき、罪を犯した疑いのある人を裁いたり、個人や会社同士のトラブルを解決したりする。くじで選ばれた国民がプロの裁判官と共に裁判の一部を担う裁判員制度もある。

◆ 国のお金の使い道 (予算)



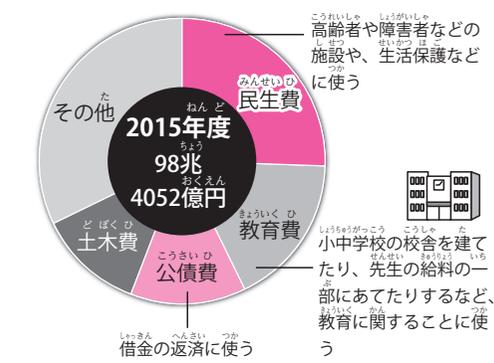
- 国が集める税金の例
 所得税(個人の所得にかかる)
 法人税(会社の所得にかかる)

◆ 地域の政治の主な仕組み



- ◎ 首長(都道府県知事や市区町村長)……議会が決めた予算や条例(地方自治体のルール)に基づき、住民サービスの提供といった地域の行政を取り仕切る。
- ◎ 議会……条例を作る。首長の案を審議して、予算も決める。

◆ 地方自治体のお金の使い道



- 地方自治体が集める税金の例
 住民税(その地域の個人や会社にかかる)
 事業税(個人や会社の事業にかかる)

国の仕事に必要なお金は、税金だけではまかなえていない。このため、借金を重ねているんだ。お金のやりくりで困っている地方自治体も多い。消費税の税率引き上げ(8%→10%、2019年10月)は、借金を少しでも減らすのが主な目的なんだ。

政治

Step 3 N検にチャレンジ! | 練習問題 正解と解説は64頁

1 私たちが日ごろ買っている「商品」は、大きく「物資」と「サービス」に分けられます。このうち、サービスの例として正しいものを、次から一つ選びなさい。

- ① 衣料品 ② 書籍 ③ 交通 ④ 電気製品

2 「A=店に出向いて商品を買う方法」「B=インターネットの通信販売で商品を買う方法」を比べた時、Aの特徴に当てはまる説明を、次から一つ選びなさい。

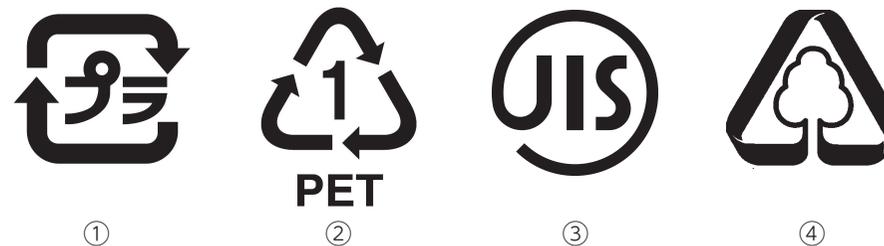
- ① 商品を買うためには、パソコンやスマートフォンが必要だ。
 ② 買う前に、商品の実物を見たり手に取ったりできる。
 ③ 買う前に、商品の実物を見たり手に取ったりできない。
 ④ 注文した商品は後日、指定した配達先に宅配便などで届く。

3 次のA~Dは「地域の商店街の店」「コンビニエンスストア(コンビニ)」「スーパーマーケット(スーパー)」「百貨店(デパート)」のいずれかです。このうちコンビニ、百貨店の説明として正しい組み合わせを、①~④から一つ選びなさい。

- A: 大きな都市の中心部などにある。大きなビルにさまざまな種類の店が入っており、高価なブランド品も売っている。多くは地下に食料品売り場がある。
 B: 食料品から日用雑貨、衣類まで商品の種類が多い。新聞チラシなどで特売を宣伝する例もある。大型店は広い駐車場を備えている。
 C: ビルの1フロアか平屋建てで、24時間営業が多い。弁当や飲み物、日用品をそろえている。コピー機を使ったり宅配便を出したりできる店もある。
 D: 八百屋や魚屋など主に個人経営の店が集まっている。なじみの客が多い。

- ① コンビニ-A 百貨店-C
 ② コンビニ-B 百貨店-A
 ③ コンビニ-C 百貨店-A
 ④ コンビニ-C 百貨店-D

4 古紙を比較的多く使い、環境にやさしい製品に表示されるマークを、次から一つ選びなさい。



5 国内では現在、人を運ぶ旅客輸送、物を運ぶ貨物輸送ともに自動車を中心です。次の①~④は、自動車、鉄道、船、航空機という輸送手段のいずれかです。このうち自動車の説明として正しいものを、一つ選びなさい。

- ① 新鮮な魚介類などを遠くまで早く運べるが、輸送費が高い。
 ② 宅配便のように、戸口から戸口へと直接運ぶのに便利だ。
 ③ 大量の人や物を時間通りに運べる。輸送中に二酸化炭素は出さない。
 ④ 石油などがさばるものや大きなものを大量に運べるが、時間がかかる。

6 日本は近年、食料の6割以上(カロリーで計算)を輸入に頼っています。その背景は、50年ほど前と比べて▽国産でまかなえる主食の【A】を食べる量が大幅に減った▽輸入に頼る【B】や油脂類(バターなど)を使う洋風のおかずを、たくさん食べるようになった——ことです。【A】【B】に当てはまる言葉の正しい組み合わせを、次から一つ選びなさい。

- ① A-パン B-野菜 ② A-パン B-肉類
 ③ A-ごはん(米) B-野菜 ④ A-ごはん(米) B-肉類

7 まだ食べられるのに、捨てられてしまう食べ物(売れ残りや食べ残し)を「食品ロス(フードロス)」といいます。日本は食品ロスの多い国です。食品ロスは、例えば【 】といった工夫で減らすことができます。【 】に当てはまらないものを、次から一つ選びなさい。

- ① 食材を買いすぎた時は、腐って食べられなくなる前に捨てる
 ② 買い物をする時は、使い切れる分だけの食材を買う
 ③ 外食する時は、食べ切れそうな量のメニューを注文する
 ④ 調理する時、果物や野菜の皮をむきすぎない